



# 浅野みえ子



2008年  
10月16日

所沢市議 市政レポート NO.17

## 「廃プラスチック」の焼却実験が中止され 9月議会で質疑・質問が紛糾

9月定例議会が終わりました。市政レポートをお届けします。

平成19年度に、「所沢市廃棄物減量推進審議会」が答申した、リサイクル出来ない廃プラスチックの焼却実証実験を、市は今年度12月に実施する方針でした。しかし「東部クリーンセンター近隣自治会の理解が得られなかった」と、12月の実証実験を中止しました。それに対して「廃プラスチックを焼却する実証実験を中止するのは、市執行部のリーダー制が問われている。東部クリーンセンター近隣自治会を説得し、予定通り実証実験を実施し安全性を確認し、焼却を急ぐべきだ。これ以上山形県住民に迷惑はかけられない」との意見と「廃プラスチックは、焼却すべきではない。ごみゼロ方針を出し市内に早く第2埋め立て地を作り埋め立てを」との意見が出されています。議会では多くの会派が焼却実証実験をし安全性を確かめる事を望んでいます。



市は、北野の第1埋め立て地が一杯になり可燃物を消却した焼却灰も、山奥に埋めています。写真の黒い山が焼却灰(スラグ)です。1山・10トン。



所沢市の出した廃プラの山です。1山・10トン。1日、2山~3山運ばれ埋めています。所沢市内の埋め立て地で埋めるとなると大変な量ですし、地下水も心配です。

私の会派「民主ネットリベラル」は、廃プラの埋め立て地「山形県の山奥」を視察しました。福島県の米沢駅から車で2時間乗る山奥です。当日は、会社(ジークライト)の方が案内して下さいました。山奥は道も狭く、大型トラックがやっと通る場所でした。埋めた廃プラから出る有害物で、地下水や川の汚染を防ぎ水質を保つよう、山形県・米沢市・福島市との取り決めがあり、業者は立派な水の洗浄所を稼働しています。「石油が高くなって経費が大変です」との説明もありました。またこの洗浄所は半永久的に稼働し続けるそうで、将来を見据えた積立金を年間5千万円している信頼できる会社です。所沢市はここへ運搬・埋め立て依頼し年間、3億5千万支出をしています。運搬中にCO<sub>2</sub>を沢山排出します。地区内処理が原則である清掃業務です。視察を終え私達は、実証実験を行い安全性が確認されたら、来年度から廃プラを焼却する事はやむを得ない対応であると考えます。勿論、ごみを減らす努力はし続ける施策を続ける事が条件です。

## 市民全体への、公平な子育て支援が 所沢市政に求められています

子育て支援と言うと保育園運営費を厚くするのが日本の現状です。幼稚園利用家庭には薄いです。国は20年前には公立保育園運営費の2分の1の補助金を所沢市に出していましたが、しかし段々減らし、平成16年度から国は「公立保育園運営費の補助金」をゼロにしました。よって、公立保育園運営費全てが市税になりました。国の補助金が多く出ている頃から、市も運営費を厚くしていて、所沢市の公立保育園への運営費予算は多額で日本で1番良いとも言われています。1クラス人数が国基準より少ないので、保育士数も国基準より多いです。朝7時から夜8時まで預ける事が出来て夕食も出ます。公立の保育士の人件費と保育サービスを維持し、今ある20園を運営し続ける事は、公平な子育て支援の観点で見ると、子育て支援の公民格差が広がるばかりです。今も待機児童が90人もいて、保育園の増設を求められています。ちなみに民間の保育園運営費の4分の3を国・県が出しています。保育園の保育料(幼稚園より低い)は、保護者の所得額で決められ公立も民間も同じです。

### 反対運動を見るにつけ、民間保育園を愛する保護者が心を痛めています

そこで、市は公民格差を縮め、待機児童を受け入れる為に「公立保育園を22年度から隔年で3園、民間委託する」と方針を出しました。これに反対し保育士が組織している自治労連職員組合保育部会が中心で、署名運動をしたりパレードを実施しています。その度に「民間保育園はいやだ。サービスは公立の方が良い」と教宣しています。民間保育園に子どもを預けている方々・保育士の方はこれを聞き心を痛めています。自分の子供を預けている保育園を愛しているからです。民間と公立を対立させずに早く市が指導力を発揮して欲しいと望む市民が増えています。私は、子育ての土台は「親子のきずな」作りを支援する事で、長時間保育園で預かる事のみが望ましいサービスだとは思いません。

### 所沢市の「子育て支援費」の現状(平成19年度)

施設名	施設数	利用人数	利用者1人 当たり運営費	国・県の 補助金	市税	利用者1人当たり の市税の支援費
家庭保育室	15園	152人		1,149万	1億5,060万	91万5千
公立保育園	20園	2,077人	170万	893万 9千	29億4,102万	141万5,993
民間保育園	24園	2,050人	129万	9億7,808 万	11億8,647万	57万8,766
公立幼稚園	2園	156人	56万	なし	8,800万	56万
民間幼稚園	21園	5,632人		9,548万	3億7,215万	平均6万6千 就園奨励費も入っ ている

民間保育園(学校法人)の保護者の方への市税からの支援費が薄く、不平等です。

## 公立・民間幼稚園の保育料等の現状

	入園金	保育料	1年間の総額
公立幼稚園	なし	9,500	11万4,000円
学校法人立幼稚園(民間)	約70,000	約22,000	33万4,000円

### 19年度公立保育園保育士の年収

年齢	年収
22才	3,403,708
30才	4,175,308
35才	5,552,225
40才	6,543,419
45才	7,542,327
49才	8,008,975

### 問われる市執行部の職員組合への対応

埼玉県・勤労福祉課の調べによると(平成19年度)民間会社の平均賃金は、男性(平均年齢42.5才、扶養家族1.2人)が、基本給31万5,437円で、残業代を入れて年収が400万強です(ボーナスがあると増える)。女性は、300万となっていますし、非正規労働者も増えています。このような働く者の実態は良いとは思いません。ゆとりある生活を安心して続けられる社会になる事を望みます。一方、公立保育園の保育士の方々の年収は同年齢の納税者を大きく超えているのも事実です。それなのに現在、自治労連職員組合保育部会は、課長補佐級職の園長を課長職にするよう市執行部に要求しています。園長は19年度で年収929万です。それでも充分なのに課長職になると、年収が10万円位上がります。市民の知らない場で保育部会とこんな交渉を議題にしている市執行部に、大きな疑問を感じます。

公民格差についてご意見を届けて下さい  
 保育課 tel 2998-9126 fax 2998-9035

### 保育園の建設費の現状

	公立松井保育園	民間 ○○保育園	公立新所沢保育園
定員	90人	120人	180人
建設年度	平成14年	平成17年	平成19年
建設費総額	4億3,421万9千	1億6,661万7千	5億9,115万3千
国県の補助金	1億0,319万	8,924万	なし
保育園支出		3,090万5千	
市の支出金	3億3,100万	4,646万	5億9,115万3千

老朽化した公立保育園の建て直しに国・県からのゼロになりました。民間には補助金が出ます。





北秋津小学校校庭雨水対策は、来年の運動会に間に合うよう工事する。公共施設や公園が無い地域事情は理解している。第2ギャラリーを使って貰えるようにする。地域に無償で土地を貸して下さる地権者がいたら減免処置をしながら公園を・・・等の回答をいただく

当麻市長を囲む会・ご希望の方はご連絡下さい。市民相談課へ  
TEL2998-9092



北秋津町内会主催 7月19日



北秋津地区敬老会で演じる可愛い文化幼稚園の園児達



吾妻地区を守って下さっている第8消防団 9/14

みえ子のおしゃべり  
小泉内閣の時代に国の地方交付税が、5兆円削減され続け不交付団体の所沢市に、国の補助は公立保育園運営費はゼロ・国民健康保険への国の負担分は減り、道路建設費もゼロになっています。とは言え市民生活を守る市運営をしているので借金が増えて行きます。団塊の世代が退職する3年後は歳入が20億は減ると予想されます。それで国の借金が減っているのでしたら納得が行くのですが、官僚の無駄使い等でむしろ増えています。総選挙にて「国民の生活を守る」政治の実現を強く望みます。小泉内閣時代に増えた特殊法人・独立行政法人を廃止し天下りを根絶し、後期高齢者制度を廃止していただきたいです。

浅野みえ子自宅  
北秋津 8 7 6 - 3 コーポラス H - 2 0 4  
浅野みえ子事務所  
北秋津 7 9 2 - 3 (靴のテイクワン向い)  
TEL (2995) 1463  
FAX (2991) 3538  
メール asanomieko@nifty.com

活動報告：みな様の声をお聞きしています

7月

- 7日 北秋津小学校「七夕まつり」
- 8日～9日 所沢市の不燃物「廃プラスチック」を埋め立てている山形県の山奥を視察
- 10日 安全・安心な学校と地域を創る推進会議(南陵中学校)
- 12日 東住吉町内会 お祭へ
- 16日 幼・保・小連携学習会へ(教育センターにて)
- 17日 建設水道常任委員会
- 19日 当麻市長を囲む会 100名 松が丘のお祭へ
- 20日 西住吉町内会 お祭へ
- 23日 建設水道常任委員会(視察：越谷レイクタウン)
- 26日 ふらっと祭(男女参画会館) メロウネット・シネマ(愛妻物語を鑑賞)
- 26日・27日 自治体議会改革ホールラム参加
- 28日 高校インターハイ開会式へ
- 29日 東北地震支援金募金活動を(所沢駅前・民主党所沢支部で)

8月

- 2日・3日 北秋津盆踊り大会(日月神社)
- 7日 議会基本条例特別委員会主催 学習会：広瀬克哉教授(法政大学)
- 9日 荒幡町内会 お祭へ
- 23日 コーポラスお祭へ
- 24日 まちづくり基本条例 学習会 吾妻公民館：牛山教授(明大)
- 25日 さいたま市；予算委員会視察
- 26日 9月議会の議事運営委員会
- 30日 久米下町内会 お祭へ
- 31日 ビエンナーレ・プチ展へ 西武車両跡地で(所沢の作家主導)

9月

- 3日～22日 9月定例議会
- 14日 消防団 ポンプ車操法大会へ
- 15日 北秋津地区 敬老会へ コーポラス敬老祝賀会へ